

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

共同設置

金沢大学大学院 新学術創成研究科融合科学共同専攻（修士課程）

北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科融合科学共同専攻
（修士課程）

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

金沢大学大学院：国立大学法人金沢大学

北陸先端科学技術大学院大学：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

令和元年5月1日現在

金沢大学：作成担当者			
担当部局（課）名	企画評価室		
職名・氏名	企画係	モリ ヨウスケ 森 洋輔	
電話番号	076-264-5114		
（夜間）	076-264-5114		
F A X	076-234-4010		
e-mail	glkikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		
北陸先端科学技術大学院大学：作成担当者			
担当部局（課）名	総務部総務課		
職名・氏名	法規係長	ナシバ タカコ 成瀬 貴子	
電話番号	0761-51-1017		
（夜間）	0761-51-1111		
F A X	0761-51-1088		
e-mail	houki@jaist.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人金沢大学：金沢大学大学院

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学：北陸先端科学技術大学院大学

(2) 調査対象大学等の位置

(金沢大学)

〒920-1192

石川県金沢市角間町

(北陸先端科学技術大学院大学)

〒923-1292

石川県能美市旭台一丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
金沢大学	学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
	研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (平成30年4月)		
北陸先端 科学技術 大学院大 学	学長	(アサノ テツオ) 浅野 哲夫 (平成26年4月)		
	研究科長	(テラノ ミノル) 寺野 稔 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生』を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
金沢大学	大学院新学術創成研究科 融合科学共同専攻 修士(融合科学)	理学関係	2年	14人	-	28人	
		工学関係					
北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻 修士(融合科学)	理学関係	2年	10人	-	20人	
		工学関係					

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
金沢大学	A 入学定員	14 (-) [-]	14 (-) [-]	14 (-) [-]	14 (-) [-]	1.03倍	-	
	志願者数	14 (-) [3]	0 (-) [0]	25 (-) [1]	25 (-) [1]			
	受験者数	14 (-) [3]	0 (-) [0]	25 (-) [1]	25 (-) [1]			
	合格者数	14 (-) [3]	0 (-) [0]	16 (-) [1]	16 (-) [1]			
	B 入学者数	13 (-) [2]	0 (-) [0]	16 (-) [1]	16 (-) [1]			
	入学定員超過率 B/A	0.92		1.14				
北陸先端科学技術大学院大学	A 入学定員	10 (-) [-]	10 (-) [-]	10 (-) [-]	10 (-) [-]	0.95倍	-	
	志願者数	19 (-) [11]	0 (-) [0]	19 (-) [6]	19 (-) [6]			
	受験者数	18 (-) [11]	0 (-) [0]	17 (-) [6]	17 (-) [6]			
	合格者数	8 (-) [2]	0 (-) [0]	13 (-) [3]	13 (-) [3]			
	B 入学者数	8 (-) [2]	0 (-) [0]	11 (-) [3]	11 (-) [3]			
	入学定員超過率 B/A	0.80		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
金沢大学	1年次	13 [2] (-)	0 [0] (-)	16 [1] (-)	[] ()	
	2年次	/		13 [2] (-)	[] ()	
	計	13 [2] (0)		29 [3] (0)		
北陸先端科学技術大学院大学	1年次	8 [2] (-)	0 [0] (-)	11 [3] (-)	[] ()	
	2年次	/		8 [2] (-)	[] ()	
	計	8 [2] (-)		19 [5] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
金沢大学	平成30年度	13人	0人	平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	29人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	合計		0人		0人	0人	
北陸先端科学技術大学院大学	平成30年度	8人	0人	平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	19人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<金沢大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

<北陸先端科学技術大学院大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
				必修	選択	自由	他	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	起業家への道	10	金沢大学	1	1	1					2	
	起業家の中核技術と戦略	12	金沢大学	1	1	1					2	
	研究者倫理	10	金沢大学	1	1	1					1	
	人間カインノベーション論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	1					1	
	実践的データ分析・統計概論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	1					1	
異分野「超」	データ分析のための情報統計学	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	2					1	
	異分野「超」体験セッションⅠ	10~12	共同開講	2		21	5					
	異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢)	13	金沢大学	1	1	14	5				10	
	異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)	14	金沢大学	1	1	14	5				10	
	異分野「超」体験実践Ⅰa(JAIST)	13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	7					10	
特異科目	異分野「超」体験実践Ⅰb(JAIST)	14	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	7					10	
	インターンシップ(金沢)	12	金沢大学	2	2	14	5					
専攻科目	インターンシップ(JAIST)	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	7						
	分散並列リアルタイムシステム構成論	13~14	金沢大学	2	2						1	
専門科目	データマイニング論	10~12	金沢大学	2	2						1	
	生命情報と先端バイオ	10~12	金沢大学	2	2						1	
	映像情報処理学	13~14	金沢大学	2	2						1	
	衛星測位工学	10~12	金沢大学	2	2						1	
	アレイ信号処理特論	13~14	金沢大学	2	2						1	
	通信工学特論	10~12	金沢大学	2	2						1	
	実験哲学概論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	認知科学概論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	データ分析学基礎	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	データ分析学	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	デザイン創造過程論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	アルゴリズムとデータ構造	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						3	
	プログラミング基礎	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	情報代数	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	数理論理学	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						3	
	情報解析学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
	形式言語とオートマトン	12~14	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	計算論	12~14	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	画像情報処理特論	24	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	ダイナミクスのモデリング	24	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
生命科学系科目	がんの生命科学Ⅰ	10~12	金沢大学	2	2	2					3	
	がんの生命科学Ⅱ	13~14	金沢大学	2	2	2					3	
	生体分子ダイナミクス	13~14	金沢大学	2	2	1				1	3	
	生物・分子物理学	10~12	金沢大学	2	2	1				1	3	
	日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア	13~14	金沢大学	2	2	1				1	3	
	創薬分子プロブ概論	10~12	金沢大学	2	2	1					8	
	ヒューマンボディー：構造	10~12	金沢大学	2	2						8	
	ヒューマンボディー：機能	10~12	金沢大学	2	2	1					7	
	ヒューマンボディー：疾患	10~12	金沢大学	2	2						6	
	生物機能概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	生物有機化学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	生物物理化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	生体分子機能特論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	生体材料分析特論	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	医用生体材料特論	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
材料科学系科目	光波工学	10~12	金沢大学	2	2	1					1	
	知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2	1					0	
	バイオメカニクス工学特論Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2	1					1	
	エネルギー・環境プログラム序論	10	金沢大学	1	1	1					9	
	マテリアルプログラム序論	10	金沢大学	1	1						6	
	太陽電池工学特論Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2	1					2	
	物性物理化学特論Ⅰ	10~12	金沢大学	2	2	1					1	
	高分子材料合成化学	10~12	金沢大学	2	2						3	
	機能性高分子材料化学	10~12	金沢大学	2	2						2	
	バイオリファイナリー工学特論Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2	1					1	
	表面・界面工学特論Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2						1	
	デバイスプロセス工学	13~14	金沢大学	2	2						1	
	固体物性評価基礎論	10~12	金沢大学	2	2						2	
	材料物理概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
	材料化学概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	量子力学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	統計力学特論	13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
	応用電磁気学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	有機分子化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	物質計算科学特論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						3	
	有機材料物性特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
	無機材料化学特論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	機器分析化学特論	13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	固体物理学特論Ⅰ	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	応用物性数学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					2	
触媒化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1		
高分子化学特論Ⅰ	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1		
デバイス物理特論Ⅱ	14	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1		
固体物理学特論Ⅱ	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1		
社会科学系科目	考古学と自然科学	13~14	金沢大学	2	2	1					0	
	認知行動融合科学基礎論	13~14	金沢大学	2	2	1					1	
	文明学特論	10~12	金沢大学	2	2						1	
	臨床神経心理学Ⅰ	13~14	金沢大学	2	2	1					1	
	文化資源学概論	10~12	金沢大学	2	2						13	
	社会科学方法論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					0	
	知識メディア方法論	12~14	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	システム思考論	20・23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					0	
	ネットワーク科学論	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
				必修	選択	自由	他	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	起業家への道	10	金沢大学	1	1	1					1	
	起業家の中核技術と戦略	12	金沢大学	1	1	1		0			2	
	研究者倫理	10	金沢大学	1	1	1		1			1	
	人間カインノベーション論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	1					1	
	実践的データ分析・統計概論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	1					1	
異分野「超」	データ分析のための情報統計学	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	2		6	0			
	異分野「超」体験セッションⅠ	10~12	共同開講	2		23	5					
	異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢)	13	金沢大学	1	1	16	3				5	
	異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)	14	金沢大学	1	1	16	3				5	
	異分野「超」体験実践Ⅰa(JAIST)	13	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	7		2			8	
特異科目	異分野「超」体験実践Ⅰb(JAIST)	14	北陸先端科学技術大学院大学	1	1	7		2			8	
	インターンシップ(金沢)	12	金沢大学	2	2	16	3					
専攻科目	インターンシップ(JAIST)	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	7		2				
	分散並列リアルタイムシステム構成論	13~14	金沢大学	2	2						1	
専門科目	データマイニング論	10~12	金沢大学	2	2						1	
	生命情報と先端バイオ	10~12	金沢大学	2	2						1	
	映像情報処理学	13~14	金沢大学	2	2						1	
	衛星測位工学	10~12	金沢大学	2	2						1	
	アレイ信号処理特論	13~14	金沢大学	2	2						1	
	通信工学特論	10~12	金沢大学	2	2						1	
	実験哲学概論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	認知科学概論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	データ分析学基礎	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	データ分析学	23	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	デザイン創造過程論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	アルゴリズムとデータ構造	10~13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						3	
	プログラミング基礎	12	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	情報代数	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	数理論理学	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						3	
	情報解析学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2	1					1	
	形式言語とオートマトン	12~14	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	計算論	10~13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	画像情報処理特論	24	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						1	
	ダイナミクスのモデリング	24	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
生命科学系科目	がんの生命科学Ⅰ	10~12	金沢大学	2	2	2					3	
	がんの生命科学Ⅱ	13~14	金沢大学	2	2	2					3	
	生体分子ダイナミクス	13~14	金沢大学	2	2	1				1	3	
	生物・分子物理学	10~12	金沢大学	2	2	1				1	3	
	日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア	13~14	金沢大学	2	2	1				1	3	
	創薬分子プロブ概論Ⅰ	10~12	金沢大学	2	2	1		1			2	
	創薬分子プロブ概論Ⅱ	10	金沢大学	2	2	1		1			7	
	ヒューマンボディー：構造	10~12	金沢大学	2	2						8	
	ヒューマンボディー：機能	10~12	金沢大学	2	2	1					6	
	ヒューマンボディー：疾患	10~12	金沢大学	2	2						2	
	生物機能概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	生物有機化学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	
	生物物理化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2	2						2	

	認知科学	13	北陸先端科学技術大学院大学	2						1	
	メディア創造論	21	北陸先端科学技術大学院大学	2						1	
	イノベーション・マネジメント論	22	北陸先端科学技術大学院大学	2						1	
	サービス経営論	14	北陸先端科学技術大学院大学	2						1	
	離散信号処理特論	12・4	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	システム最適化	11	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	計算機アーキテクチャ特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	ソフトウェア設計論	12・4	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	自然言語処理Ⅰ	12・3	北陸先端科学技術大学院大学	2			1			1	
	統計的信号処理特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	オペレーティングシステム特論	11	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	ゲーム情報学特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2						2	
	認識理工学特論	23	北陸先端科学技術大学院大学	2			1				
	ソフトウェア検証論	13	北陸先端科学技術大学院大学	2			1				
研究支援科目	ゼミナール・演習Ⅰ(金沢)	13・4	金沢大学	2	14	5					
	ゼミナール・演習Ⅰ(JAIST)	13	北陸先端科学技術大学院大学	2	7						
	融合科学研究論文Ⅰ(金沢)	2	金沢大学	6	14	5					
	融合科学研究論文Ⅰ(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	6	7						
	融合科学課題研究(金沢)	2	金沢大学	2	14	5					
	融合科学課題研究(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	2	7						
	融合科学博士研究計画調査(金沢)	2	金沢大学	2	14	5					
	融合科学博士研究計画調査(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	2	7						
合計(110科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
<p>・「基幹教育科目」から4単位以上修得すること。なお、「実践的データ分析・統計概論」(2単位)又は「データ分析のための情報統計学」(2単位)のいずれかは必修とする。</p> <p>・「異分野」超」体験科目」から4単位以上修得すること。なお、「異分野」超」体験セッションⅠ」(2単位)は必修とする。また、「異分野」超」体験実践Ⅰa(金沢)」、「異分野」超」体験実践Ⅰb(金沢)」、「異分野」超」体験実践Ⅰa(JAIST)」又は「異分野」超」体験実践Ⅰb(JAIST)」(各1単位)から、相手大学の開講科目1単位以上を含めて、2単位以上修得すること。</p> <p>・「社会実装科目」から2単位修得すること。なお、「インターシップ」(2単位)は必修とし、本籍大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「修士論文」又は「課題研究」を選択した者は、「専門科目」(各1単位又は2単位)から10単位以上修得すること。また、「博士研究計画調査」を選択した者は、「専門科目」から12単位以上修得すること。なお、主任研究指導教員と十分に相談した上で、選択した3つの挑戦的なイノベーションの枠組み(3つのチャレンジ)に応じて、共通科目、生命科学系科目、材料科学系科目及び社会システム科学系科目のうち、必ず2つ以上の科目区分から修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「修士論文」を選択した者は、「研究支援科目」から6単位修得すること。なお、「融合科学研究論文Ⅰ」(6単位)及び「ゼミナール・演習Ⅰ」(2単位)を必修とし、「融合科学研究論文Ⅰ」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習Ⅰ」は相手大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「課題研究」を選択した者は、「研究支援科目」から4単位修得し、かつ主任研究指導教員と十分に相談した上で、基幹教育科目以外から4単位修得すること。なお、「融合科学課題研究」(2単位)及び「ゼミナール・演習Ⅰ」(2単位)を必修とし、「融合科学課題研究」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習Ⅰ」は相手大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・本籍大学及び相手大学からそれぞれ計10単位以上を修得すること。</p>											
以上の要件を満たし、かつ計32単位以上を修得すること。ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究計画調査」を選択した者は、計34単位以上を修得すること。											

	認知科学	13	北陸先端科学技術大学院大学	2							3
	メディア創造論	21	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	イノベーション・マネジメント論	22	北陸先端科学技術大学院大学	2							1
	サービス経営論	14	北陸先端科学技術大学院大学	2							1
	離散信号処理特論	12・4	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	システム最適化	11	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	計算機アーキテクチャ特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	ソフトウェア設計論	12・4	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	自然言語処理Ⅰ	12・3	北陸先端科学技術大学院大学	2			1				2
	統計的信号処理特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	オペレーティングシステム特論	11	北陸先端科学技術大学院大学	2							2
	ゲーム情報学特論	10・3	北陸先端科学技術大学院大学	2							3
	認識理工学特論	23	北陸先端科学技術大学院大学	2			1				
	ソフトウェア検証論	13	北陸先端科学技術大学院大学	2			1				
研究支援科目	ゼミナール・演習Ⅰ(金沢)	13・4	金沢大学	2	14	5				18	3
	ゼミナール・演習Ⅰ(JAIST)	13	北陸先端科学技術大学院大学	2	7					7	2
	融合科学研究論文Ⅰ(金沢)	2	金沢大学	6	16	3					
	融合科学研究論文Ⅰ(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	6	7						
	融合科学課題研究(金沢)	2	金沢大学	2	16	3					
	融合科学課題研究(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	2	7						
	融合科学博士研究計画調査(金沢)	2	金沢大学	2	16	3					
	融合科学博士研究計画調査(JAIST)	2	北陸先端科学技術大学院大学	2	7						
合計(114科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
<p>・「基幹教育科目」から4単位以上修得すること。なお、「実践的データ分析・統計概論」(2単位)又は「データ分析のための情報統計学」(2単位)のいずれかは必修とする。</p> <p>・「異分野」超」体験科目」から4単位以上修得すること。なお、「異分野」超」体験セッションⅠ」(2単位)は必修とする。また、「異分野」超」体験実践Ⅰa(金沢)」、「異分野」超」体験実践Ⅰb(金沢)」、「異分野」超」体験実践Ⅰa(JAIST)」又は「異分野」超」体験実践Ⅰb(JAIST)」(各1単位)から、相手大学の開講科目1単位以上を含めて、2単位以上修得すること。</p> <p>・「社会実装科目」から2単位修得すること。なお、「インターシップ」(2単位)は必修とし、本籍大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「修士論文」又は「課題研究」を選択した者は、「専門科目」(各1単位又は2単位)から10単位以上修得すること。また、「博士研究計画調査」を選択した者は、「専門科目」から12単位以上修得すること。なお、主任研究指導教員と十分に相談した上で、選択した3つの挑戦的なイノベーションの枠組み(3つのチャレンジ)に応じて、共通科目、生命科学系科目、材料科学系科目及び社会システム科学系科目のうち、必ず2つ以上の科目区分から修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「修士論文」を選択した者は、「研究支援科目」から6単位修得すること。なお、「融合科学研究論文Ⅰ」(6単位)及び「ゼミナール・演習Ⅰ」(2単位)を必修とし、「融合科学研究論文Ⅰ」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習Ⅰ」は相手大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・研究取りまとめの方法として「課題研究」を選択した者は、「研究支援科目」から4単位修得し、かつ主任研究指導教員と十分に相談した上で、基幹教育科目以外から4単位修得すること。なお、「融合科学課題研究」(2単位)及び「ゼミナール・演習Ⅰ」(2単位)を必修とし、「融合科学課題研究」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習Ⅰ」は相手大学の開講科目を修得すること。</p> <p>・本籍大学及び相手大学からそれぞれ計10単位以上を修得すること。</p>											
以上の要件を満たし、かつ計32単位以上を修得すること。ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究計画調査」を選択した者は、計34単位以上を修得すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	構成大学	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
				必	選	自	教	准	講	助	助	
基礎教育科目	起業家への道	10	金沢大学	1			0					1
	起業家の中核技術と戦略	10	金沢大学	1			0					2
	研究者倫理	10	金沢大学	1			1					1
	人間カインノベーション論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1								1
	創出カインノベーション論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	1								1
異分野「超」体験科目	実践的データ分析・統計概論	10・12	金沢大学	2			4	2				
	データ分析のための情報統計学	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	異分野「超」体験セッションⅠ	11	共同開講	2			21	5				
	異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢)	13	金沢大学	1			14	5				10
	異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)	14	金沢大学	1			14	5				10
科実社目録	異分野「超」体験実践Ⅰa(JAIST)	13	北陸先端科学技術大学院大学	1			7					
	異分野「超」体験実践Ⅰb(JAIST)	14	北陸先端科学技術大学院大学	1			7					
科実社目録	インターンシップ(金沢)	11	金沢大学	2			14	5				
	インターンシップ(JAIST)	11	北陸先端科学技術大学院大学	2			7					
専門科目	分散並列リアルタイムシステム構成論	10・14	金沢大学	2								1
	データマイニング論	10・12	金沢大学	2								1
	生命情報と先端バイオ	10・12	金沢大学	2								1
	映像情報処理学	10・14	金沢大学	2								1
	衛星測位工学	10・12	金沢大学	2								1
	アレイ信号処理特論	10・14	金沢大学	2								1
	通信工学特論	10・12	金沢大学	2								1
	実験哲学概論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	認知科学概論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	データ分析学基礎	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	データ分析学	20	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	デザイン創造過程論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	アルゴリズムとデータ構造	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	プログラミング基礎	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	情報代数	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	数理論理学	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	情報解析学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
	形式言語とオートマトン	10・10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	計算論	10・10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	画像情報処理特論	24	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
ダイナミクスモデリング	22	北陸先端科学技術大学院大学	2								2	
生命科学系科目	がんの生命科学Ⅰ	10・12	金沢大学	2			2					2
	がんの生命科学Ⅱ	10・14	金沢大学	2			2					3
	生体分子ダイナミクス	10・14	金沢大学	2				1				2
	生物・分子物理学	10・12	金沢大学	2				1				3
	日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア	10・10	金沢大学	2			1					1
	創薬分子プロブ概論	10・10	金沢大学	2				1				8
	ヒューマンボディー：構造	10・12	金沢大学	2								9
	ヒューマンボディー：機能	10・12	金沢大学	2			1					7
	ヒューマンボディー：疾患	10・12	金沢大学	2								7
	生物機能概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	生物有機化学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	生物物理化学特論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	生体分子機能特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	生体材料分析特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	医用生体材料特論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					
材料科学系科目	光波工学	10・10	金沢大学	2			1					1
	知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ	10・14	金沢大学	2			1					1
	バイオメカニクス工学特論Ⅰ	10・14	金沢大学	2			1					9
	エネルギー・環境プログラム序論	10	金沢大学	1								9
	マテリアルプログラム序論	12	金沢大学	1								1
	太陽電池工学特論Ⅰ	10・14	金沢大学	2			1					1
	物性物理化学特論Ⅰ	10・10	金沢大学	2			1					3
	高分子材料合成化学	10・12	金沢大学	2								2
	機能性高分子材料化学	10・12	金沢大学	2								3
	バイオリファイナリー工学特論Ⅰ	10・14	金沢大学	2				1				1
	表面・界面工学特論Ⅰ	10・14	金沢大学	2								1
	デバイスプロセス工学	10・10	金沢大学	2								1
	固体物性評価基礎論	10・12	金沢大学	2			1					2
	材料物理概論	10・10	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					2
	材料化学概論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	量子力学特論	10・10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	統計力学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					0
	応用電磁気学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	有機分子化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					0
	物質計算科学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	有機材料物性特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
	無機材料化学特論	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	機器分析化学特論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	固体物理学特論Ⅰ	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	応用物性数学特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
触媒化学特論	11	北陸先端科学技術大学院大学	2								1	
高分子化学特論Ⅰ	12	北陸先端科学技術大学院大学	2								1	
デバイス物理特論	14	北陸先端科学技術大学院大学	2								1	
固体物理学特論Ⅱ	20	北陸先端科学技術大学院大学	2								1	
社会科学系科目	考古学と自然科学	10・14	金沢大学	2				1				
	認知行動融合科学基礎論	10・14	金沢大学	2			1					1
	文明学特論	10・12	金沢大学	2								1
	臨床神経心理学Ⅰ	10・14	金沢大学	2			1					
	文化資源学概論	10・12	金沢大学	2				1				13
	社会科学方法論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	知識メディア方法論	12・14	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	システム思考論	20・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	ネットワーク科学論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					
	認知科学	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	メディア創造論	20	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	イノベーション・マネジメント論	22	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	サービス経営論	10	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	離散信号処理特論	12・14	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	システム最適化	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	計算機アーキテクチャ特論	10・10	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	ソフトウェア設計論	12・14	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					2
	自然言語処理論Ⅰ	12・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	統計的信号処理特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	オペレーティングシステム特論	10・13	北陸先端科学技術大学院大学	2								2

研究 支 援 科 目	ゲーム情報学特論	1①・③	北陸先端科学技 術大学院大学	2							2
	認知処理工学特論	2②	北陸先端科学技 術大学院大学	2	1						
	ソフトウェア検証論	1③	北陸先端科学技 術大学院大学	2	1						
	ゼミナール・演習 I (金沢)	1③~④	金沢大学	2	14	5					
	ゼミナール・演習 I (JAIST)	1③~④	北陸先端科学技 術大学院大学	2	7						
	融合科学研究論文 I (金沢)	2②	金沢大学	6	14	5					
	融合科学研究論文 I (JAIST)	2②	北陸先端科学技 術大学院大学	6	7						
	融合科学課題研究 (金沢)	2②	金沢大学	2	14	5					
	融合科学課題研究 (JAIST)	2②	北陸先端科学技 術大学院大学	2	7						
	融合科学博士研究計画調査 (金沢)	2②	金沢大学	2	14	5					
融合科学博士研究計画調査 (JAIST)	2②	北陸先端科学技 術大学院大学	2	7							
合計(110科目)		—									

卒業要件及び履修方法

・「基幹教育科目」から4単位以上修得すること。なお、「実践的データ分析・統計概論」(2単位)又は「データ分析のための情報統計学」(2単位)のいずれかは必修とする。

・「異分野」超体験科目 から4単位以上修得すること。なお、「異分野」超体験セッション I」(2単位)は必修とする。また、「異分野」超体験実践 I a(金沢)」、「異分野」超体験実践 I b(金沢)」、「異分野」超体験実践 I a(JAIST)」又は「異分野」超体験実践 I b(JAIST)」(各1単位)から、相手大学の開講科目1単位以上を含めて、2単位以上修得すること。

・「社会実装科目」から2単位修得すること。なお、「インターンシップ」(2単位)は必修とし、本籍大学の開講科目を修得すること。

・研究取りまとの方法として「修士論文」又は「課題研究」を選択した者は、「専門科目」(各1単位又は2単位)から10単位以上修得すること。また、「博士研究計画調査」を選択した者は、「専門科目」から12単位以上修得すること。なお、主任研究指導教員と十分に相談した上で、選択した3つの挑戦的なイノベーションの枠組み(3つのチャレンジ)に応じて、共通科目、生命科学系科目、材料科学系科目及び社会システム科学系科目のうち、必ず2つ以上の科目区分から修得すること。

・研究取りまとの方法として「修士論文」を選択した者は、「研究支援科目」から6単位修得すること。なお、「融合科学研究論文 I」(6単位)及び「ゼミナール・演習 I」(2単位)を必修とし、「融合科学研究論文 I」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習 I」は相手大学の開講科目を修得すること。

・研究取りまとの方法として「課題研究」を選択した者は、「研究支援科目」から4単位修得し、かつ主任研究指導教員と十分に相談した上で、基幹教育科目以外から4単位修得すること。なお、「融合科学課題研究」(2単位)及び「ゼミナール・演習 I」(2単位)を必修とし、「融合科学課題研究」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習 I」は相手大学の開講科目を修得すること。

・研究取りまとの方法として「博士研究計画調査」を選択した者は、「研究支援科目」から4単位修得し、かつ主任研究指導教員と十分に相談した上で、基幹教育科目以外から4単位修得すること。なお、「融合科学博士研究計画調査」(2単位)及び「ゼミナール・演習 I」(2単位)を必修とし、「融合科学博士研究計画調査」は本籍大学の開講科目を、「ゼミナール・演習 I」は相手大学の開講科目を修得すること。

・本籍大学及び相手大学からそれぞれ計10単位以上を修得すること。

以上の要件を満たし、かつ計32単位以上を修得すること。ただし、研究取りまとの方法として「博士研究計画調査」を選択した者は、計34単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

担当教員の見直しにより、「起業家への道」の教員配置を「教授1、兼任・兼担1」から「兼任・兼担1」に変更。
 担当教員の見直しにより、「起業家の中核技術と戦略」の教員配置を「教授1、兼任・兼担2」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「研究者倫理」の教員配置を「兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 ・「実践的データ分析・統計概論」、「異分野「超」体験実践1a (JAIST)」、「異分野「超」体験実践1b (JAIST)」の教員配置の誤記を修正。
 ・履修計画の見直しにより、「異分野「超」体験セッション1」の配当年次を「1①～②」から「1休」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「インターンシップ (金沢)」の配当年次を「1②」から「1通」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「インターンシップ (JAIST)」の配当年次を「1②」から「1通」に変更。
 担当教員の見直しにより、「データ分析学基礎」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「データ分析学」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「デザイン創造過程」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「数理物理学」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「情報解読学特論」の教員配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「形式言語とオートマトン」の配当年次を「1②・④」から「1①・③」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「計算論」の配当年次を「1②・④」から「1①・④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ダイナミクスのモデリング」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「生体分子ダイナミクス」の教員配置を「准教授1、兼任・兼担1」から「准教授1、兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「生物・分子物理学」の教員配置を「准教授1、兼任・兼担2」から「准教授1、兼任・兼担3」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア」の配当年次を「1③～④」から「1①～②」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「創薬分子プロブ概論」の配当年次を「1①～②」から「1①・④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ヒューマンポテター：構造」の教員配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担9」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ヒューマンポテター：疾患」の教員配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担7」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「生体分子機能特論」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「生体材料分析特論」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「医用生体材料特論」の配当年次を「1②」から「1②」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「光工学」の配当年次を「1①～②」から「1③～④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「マテリアルプログラム序論」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担9」に変更。
 担当教員の退職により、「太陽電池工学特論1」の教員配置を「教授1、兼任・兼担2」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「物性物理学特論1」の配当年次を「1①～②」から「1③～④」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「デバイスプロセス工学」の配当年次を「1③～④」から「1①～②」に変更。
 担当教員の見直しにより、「固体物性評価基礎」の教員配置を「兼任・兼担2」から「教授1、兼任・兼担2」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「材料物理学特論」の配当年次を「1①」から「1①・③」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「教授」から「教授1、兼任・兼担2」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「量子力学特論」の配当年次を「1①・③」から「1②・③」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「統計力学特論」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「応用電磁気学特論」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
 教員の異動により、「有機分子化学特論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「物質計算科学特論」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「機器分析化学特論」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「触媒化学特論」の配当年次を「1①」から「1休」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「固体物理学特論II」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「文化資源学概論」の教員配置を「兼任・兼担13」から「教授1、兼任・兼担13」に変更。
 担当教員の見直しにより、「社会科学方法論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「ネットワーク科学」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「認知科学」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「メディア創造論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「サービス経営論」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「計算機アーキテクチャ特論」の配当年次を「1①・③」から「1①・④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「オペレーティングシステム特論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

【令和元年度】

担当教員の昇任により、「実践的データ分析・統計概論」の教員配置を「教授4、准教授2」から「教授6」に変更。
 担当教員の昇任と追加により、「異分野「超」体験セッション1」の教員配置を「教授21、准教授5」から「教授23、准教授5」に変更。
 担当教員の昇任及び見直しにより、「異分野「超」体験実践1a (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5、兼任・兼担10」から「教授16、准教授3、兼任・兼担5」に変更。
 担当教員の昇任及び見直しにより、「異分野「超」体験実践1b (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5、兼任・兼担10」から「教授16、准教授3、兼任・兼担5」に変更。
 担当教員の見直しにより、「異分野「超」体験実践1a (JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授2、兼任・兼担8」に変更。
 担当教員の見直しにより、「異分野「超」体験実践1b (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2、兼任・兼担8」に変更。
 担当教員の昇任により、「インターンシップ (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5」から「教授16、准教授3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「インターンシップ (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「衛星測位工学」の配当年次を「1①～②」から「1③～④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「データ分析学基礎」の教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担1」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「アルゴリズムとデータ構造」の配当年次を「1①」から「1①・③」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「画像情報処理特論」の配当年次を「1②」から「1②」に変更。
 担当教員の見直しにより、「がんの生命科学1」の教員配置を「教授2、兼任・兼担2」から「教授2、兼任・兼担3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「生体分子ダイナミクス」の教員配置を「准教授1、兼任・兼担2」から「准教授1、兼任・兼担3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「創薬分子プロブ概論」を「創薬分子プロブ概論I」と「創薬分子プロブ概論II」に分割。
 担当教員の見直しにより、「ヒューマンポテター：機能」の教員配置を「教授1、兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担9」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ヒューマンポテター：疾患」の教員配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担6」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「光工学」の配当年次を「1③～④」から「1①～②」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「教授」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 担当教員の昇任により、「知的自律移動ロボット工学特論1」の教員配置を「准教授1、兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 担当教員の見直しにより、「エネルギー・環境プログラム序論」の教員配置を「教授1、兼任・兼担9」から「教授1、兼任・兼担8」に変更。
 担当教員の見直しにより、「マテリアルプログラム序論」の教員配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担6」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「物性物理学特論1」の配当年次を「1③～④」から「1①～②」に変更。
 担当教員の見直しにより、「高分子材料合成化学」の教員配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の退職により、「材料物理概論」の教員配置を「教授1、兼任・兼担2」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「有機材料物性特論」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
 担当教員の見直しにより、「応用物性数学特論」の教員配置を「教授1、兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「触媒化学特論」の配当年次を「1休」から「1①」に変更。また、担当教員の見直しにより、教員配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
 ・開講科目の見直しにより、「メカトロニクス」を新規に追加。
 担当教員の昇任と見直しにより、「考古学と自然科学」の教員配置を「准教授1」から「教授1、兼任・兼担1」に変更。
 授業科目を充実させるため、「比較認知概論」を新規に追加。
 授業科目を充実させるため、「運動生理学概論」を新規に追加。
 担当教員の昇任により、「文化資源学概論」の教員配置を「准教授1、兼任・兼担13」から「教授1、兼任・兼担13」に変更。
 担当教員の退職により、「システム思考論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
 担当教員の見直しにより、「認知科学」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
 ・履修計画の見直しにより、「計算機アーキテクチャ特論」の配当年次を「1①・④」から「1②・④」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ソフトウェア設計論」の教員配置を「教授1、兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担2」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ゲーム情報学特論」の教員配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
 担当教員の昇任により、「ゼミナール・演習I (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5」から「教授16、准教授3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「ゼミナール・演習I (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2」に変更。
 担当教員の昇任により、「融合科学研究論文I (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5」から「教授16、准教授3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「融合科学研究論文I (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2」に変更。
 担当教員の昇任により、「融合科学課題研究 (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5」から「教授16、准教授3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「融合科学課題研究 (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2」に変更。
 担当教員の昇任により、「融合科学博士研究計画調査 (金沢)」の教員配置を「教授14、准教授5」から「教授16、准教授3」に変更。
 担当教員の見直しにより、「融合科学博士研究計画調査 (JAIST)」の教員配置を「教授7」から「教授7、准教授2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度 (平成29年度開設であれば平成28年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
金沢大学	1 科目	45 科目	0 科目	46 科目	1 科目	48 科目	0 科目	49 科目	[3]
金沢大学 工学部 工学系	1 科目	64 科目	0 科目	65 科目	1 科目	65 科目	0 科目	66 科目	[1]

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
金沢大学	1						
	2						
	3						
北陸先端科学技術大学院大学	1						
	2						
	3						

該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
金沢大学	1						
	2						
	3						
北陸先端科学技術大学院大学	1						
	2						
	3						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>該当なし</p> </div>	
--	--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(金沢大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{46} = \boxed{} \%$$

(北陸先端科学技術大学院大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{65} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(金沢大学)

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	731,780㎡ 739,888㎡	㎡	㎡	731,780㎡ 739,888㎡	大学全体					
	運動場用地	115,740㎡ 103,704㎡	㎡	㎡	115,740㎡ 103,704㎡						
	小 計	847,520㎡ 835,484㎡ 843,592㎡	㎡	㎡	847,520㎡ 835,484㎡ 843,592㎡	校地等整理のため (30)					
	そ の 他	1,793,478㎡ 1,805,514㎡ 1,723,183㎡	㎡	㎡	1,793,478㎡ 1,805,514㎡ 1,723,183㎡	校地等整理のため (元)					
	合 計	2,640,998㎡ 2,566,775㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡ 2,566,775㎡						
(2) 校 舎	専 用	283,269㎡ 283,184㎡ (283,269㎡) (-283,184㎡)	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 改修等のため (30)					
			(㎡)	(㎡)	(283,269㎡) (-283,184㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	133室 149室	演 習 室	194室 243室	実験実習室	910室 848室	情報処理学習施設	8室 10室 (補助職員 人)	語学学習施設	6室 8室 (補助職員 人)	大学全体 教室等用途変更・整理 のため (30)
	専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		新学術創成研究科 融合科学共同専攻			19 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
	新学術創成研究 科 融合科学共 同専攻	1,911,948 [678,273] 1,928,640 [682,093] 1,891,674 [677,445]	36,332 [14,394] 36,120 [14,378] 36,060 [14,388]	9,852 [8,485] 8,007 [6,773] 8,399 [6,598]	8,219 8,154 8,096	8,269 8,063 8,608	373 230 129	全て大学全体での共用分			
	計	(1,911,948 [678,273]) (1,928,640 [682,093]) (1,891,674 [677,445])	(36,332 [14,394]) (36,120 [14,378]) (36,060 [14,388])	(9,852 [8,485]) (8,007 [6,773]) (8,399 [6,598])	(8,219) (8,154) (8,096)	(8,269) (8,063) (8,608)	(373) (230) (129)	購入・廃棄等のため (元)			
(6) 図 書 館	面 積	19,794㎡ 19,793㎡ 20,510㎡		閱 覧 座 席 数	2,191 2,187 2,164		収 納 可 能 冊 数	1,625,424 1,618,222			大学全体 改修等のため (30) 管理区分見直し及び椅子の追加購入 (元)
	面 積	6,295㎡ 5,871㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要			弓道場(162㎡)			大学全体 改修等のため (30)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
	教員 1 人 当り 研究費等		-	-	図書購入費	-	-	-	国費による		
	共 同 研 究 費 等		-	-	設備購入費	-	-	-			
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次				
学生納付金以外の維持方法の概要											

(北陸先端科学技術大学院大学)

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 H30.12体育館新設のため(元)			
	校舎敷地	88,976㎡ 81,033㎡	0㎡	0㎡	88,976㎡ 81,033㎡				
	運動場用地	3,727㎡	0㎡	0㎡	3,727㎡				
	小 計	92,703㎡ 84,760㎡	0㎡	0㎡	92,703㎡ 84,760㎡				
	そ の 他	32,303㎡	0㎡	0㎡	32,303㎡				
	合 計	125,006㎡ 117,063㎡	0㎡	0㎡	125,006㎡ 117,063㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 スポーツ施設・厚生補 導施設等を校舎面積から 削除のため(元)			
		73,022㎡ 117,063㎡ (73,022㎡) (117,063㎡)	0㎡	0㎡	73,022㎡ 117,063㎡ (73,022㎡) (117,063㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	15室	194室	261室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月 専任准教授2名を新規 採用のため(元)			
	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻			9 7 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 購入・廃棄等のため (元) 購入・廃棄等のため (30)	
	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻	153,212 [72,836] 151,883 [72,327] 148,984 [71,316]	1,170 [684] 1,163 [683] 1,299 [764]	6,618 [6,591] 6,580 [6,576] 6,694 [6,690]	26 28	3,788 2,544 3,802	2		
		(153,212 [72,836]) (151,883 [72,327]) (148,984 [71,316])	(1,170 [684]) (1,163 [683]) (1,299 [764])	(6,618 [6,591]) (6,580 [6,576]) (6,694 [6,690])	(26) (28)	(3,788) (2,544) (3,802)	(2)		
	計	153,212 [72,836] 151,883 [72,327] 148,984 [71,316]	1,170 [684] 1,163 [683] 1,299 [764]	6,618 [6,591] 6,580 [6,576] 6,694 [6,690]	26 28	3,788 2,544 3,802	2		
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,076㎡	162		178,947					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	1,352㎡ 0㎡	テニスコート 2面 (1,486㎡)		グ ラ ウ ン ド (2,241㎡)		H30.12体育館新設のため(元)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
- ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
【学類】										
人間社会学域										
人文学類	4	145	-	580	学士 (文学)	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	1.00	-	平成20	同上	
経済学類	4	135	-	640	学士 (経済学)	1.02	-	平成20	同上	平成30年度より入 学定員185→135
学校教育学類	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	-	平成20	同上	
地域創造学類	4	90	-	340	学士 (地域創造 学)	1.04	-	平成20	同上	平成30年度より入 学定員80→90
国際学類	4	85	-	310	学士 (国際学)	1.05	-	平成20	同上	平成30年度より入 学定員70→85
理工学域										
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和2年度より編 入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工 学)	1.03	-	平成20	同上	令和2年度より編 入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	200	学士 (工学)	1.01	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	220	学士 (工学)	1.01	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	160	学士 (工学)	1.02	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	200	学士 (理学・工 学)	1.02	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	118	学士 (理学・工 学)	1.00	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
機械工学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
自然システム学類	4	-	-	-	学士 (理学・工 学)	-	-	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
医薬保健学域										
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	平成29	平成20	石川県金沢市宝町13- 1	
薬学類	6	35	-	210	学士 (薬学)	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	-	160	学士 (創薬科 学)	-	-	平成20	同上	
保健学類										
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.02	-	平成20	石川県金沢市小立野 5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	-	平成20	同上	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.96	-	平成20	同上	

理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.88	-	平成20	同上	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.89	-	平成20	同上	
大学全体	-	1,726	85	6,455	-	1.00	-	-	-	
【大学院】										
人間社会環境研究科										
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.86	-	平成24	石川県金沢市角間町	
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.37	-	平成24	同上	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・経営学・学術)	1.16	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→6
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造学・学術)	1.03	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→14
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・学術)	0.85	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→10
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・ 法学・政治学・経済学・学術)	1.22	-	平成18	同上	
自然科学研究科										
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	0.93	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学術)	1.08	-	平成24	同上	
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学術)	1.08	-	平成24	同上	
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学術)	1.16	-	平成24	同上	
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	-	平成24	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.62	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.45	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.56	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.53	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	1.03	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.52	-	平成26	同上	

システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
医薬保健学総合研究科										
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	1.06	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	0.99	平成28	平成28	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	1.11	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	0.75	-	平成24	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.87	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.78	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.10	-	平成24	同上	
先進予防医学研究科										
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	1.03	平成28	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科										
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	平成30	平成30	石川県金沢市角間町	
法務研究科										
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.57	-	平成16	石川県金沢市角間町	
教職実践研究科										
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.99	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	836	-	1,998	-	0.89	-	-	-	

大学の名称	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員超 過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
先端科学技術研究科 先端科学技術専攻										
博士前期課程	2	282	-	564	修士 (知識科学) 修士 (情報科学) 修士 (マテリアルサイエ ンス)	1.09	-	平成28	石川県能美市 旭台1-1	
博士後期課程	3	90	-	270	博士 (知識科学) 博士 (情報科学) 博士 (マテリアルサイエ ンス)	0.83	-	平成28	同上	
先端科学技術研究科 融合科学共同専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士 (融合科学)	0.95	平成30	平成30	同上	
知識科学技術研究科 知識科学専攻										
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (知識科学)	-	-	平成20	同上	
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (知識科学)	-	-	平成20	同上	
情報科学技術研究科 情報科学専攻										
博士前期課程	2	-	-	-	修士 (情報科学)	-	-	平成20	同上	
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (情報科学)	-	-	平成20	同上	
マテリアルサイエンス研究 科 マテリアルサイエンス専 攻										
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (マテリアルサイエ ンス)	-	-	平成20	同上	
大学院全体										
博士前期課程、 修士課程	2	292	-	584	-	1.09	-	-		
博士後期課程	3	90	-	270	-	0.83	-	-		

平成28年より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

【認可時又は届出時】

Table with columns for position, name, and responsibilities. Includes entries for 佐藤 純, 水野 元博, 坂本 二郎, 當麻 哲也, 飯山 宏一, 松井 三枝, 小島 治幸, and 柴田 幹大.

【平成30年度】

Table with columns for position, name, and responsibilities. Includes entries for 佐藤 純, 水野 元博, 坂本 二郎, 當麻 哲也, 飯山 宏一, 松井 三枝, 小島 治幸, and 柴田 幹大.

【令和元年度】

Table with columns for position, name, and responsibilities. Includes entries for 佐藤 純, 水野 元博, 坂本 二郎, 當麻 哲也, 飯山 宏一, 松井 三枝, 小島 治幸, and 柴田 幹大.

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	向田 直史 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	須田 貴司 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	國嶋 崇隆 () <平成30年4月> 薬学博士
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	松尾 淳一 () <平成30年4月> 博士(薬学)
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	多久和 陽 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	河崎 洋志 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	三枝 理博 () <平成30年4月> 博士(理学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	高橋 憲司 () <平成30年4月> 博士(工学)
		異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)
兼任	教授	生越 友樹 () <平成30年4月> 博士(工学)
		マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	尾崎 紀之 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	堀 修 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	大井 章史 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	原田 憲一 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	山田 正仁 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	中村 慎一 () <平成30年4月> 博士(文学)
		文明学特論 文化資源学概論 ※
兼任	教授	森 雅秀 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy(英国)
		文化資源学概論 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	向田 直史 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	須田 貴司 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	國嶋 崇隆 () <平成30年4月> 薬学博士
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	松尾 淳一 () <平成30年4月> 博士(薬学)
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	多久和 陽 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	河崎 洋志 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	三枝 理博 () <平成30年4月> 博士(理学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	高橋 憲司 () <平成30年4月> 博士(工学)
		異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)
兼任	教授	生越 友樹 () <平成30年4月> 博士(工学)
		マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	尾崎 紀之 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	堀 修 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	大井 章史 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	原田 憲一 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	山田 正仁 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	中村 慎一 () <平成30年4月> 博士(文学)
		文明学特論 文化資源学概論 ※
兼任	教授	森 雅秀 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy(英国)
		文化資源学概論 ※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	向田 直史 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	須田 貴司 () <平成30年4月> 医学博士
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	國嶋 崇隆 () <平成30年4月> 薬学博士
		創薬分子プローブ概論Ⅱ ※
兼任	教授	松尾 淳一 () <平成30年4月> 博士(薬学)
		創薬分子プローブ概論Ⅱ ※
兼任	教授	多久和 陽 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	河崎 洋志 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	三枝 理博 () <平成30年4月> 博士(理学)
		ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	高橋 憲司 () <平成30年4月> 博士(工学)
		異分野「超」体験実践Ⅰa(金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb(金沢)
兼任	教授	生越 友樹 () <平成30年4月> 博士(工学)
		マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	尾崎 紀之 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	堀 修 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	大井 章史 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	原田 憲一 () <平成30年4月> 博士(医学)
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	山田 正仁 () <平成30年4月> 医学博士
		ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	教授	中村 慎一 () <平成30年4月> 博士(文学)
		文明学特論 文化資源学概論 ※
兼任	教授	森 雅秀 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy(英国)
		文化資源学概論 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	新田 哲夫 () <平成30年4月> 文学修士 文化資源学概論 ※
兼任	教授	高山 知明 () <平成30年4月> 博士(言語学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	上田 望 () <平成30年4月> 博士(文学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	西村 聡 () <平成30年4月> 博士(文学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	中村 誠一 () <平成30年4月> 修士(文化科学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	粕谷 雄一 () <平成30年4月> 文学修士 文化資源学概論 ※
兼任	教授	江藤 望 () <平成30年4月> 修士(教育学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	大村 雅章 () <平成30年4月> 芸術学修士 文化資源学概論 ※
兼任	教授	山根 智 () <平成30年4月> 博士(工学) 分散並列リアルタイムシステム構成論
兼任	教授	佐藤 賢二 () <平成30年4月> 博士(工学) 生命情報と先端バイオ
兼任	教授	三好 正人 () <平成30年4月> 博士(工学) アレイ信号処理特論
兼任	教授	笠原 禎也 () <平成30年4月> 博士(工学) 通信工学特論
兼任	教授	浅川 毅 () <平成30年4月> 理学博士 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	山岸 忠明 () <平成30年4月> 工学博士 エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	長谷川 浩 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	千木 昌人 () <平成30年4月> 工学博士 マテリアルプログラム序論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	中村 誠一 () <平成30年4月> 修士(文化科学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	粕谷 雄一 () <平成30年4月> 修士(文化科学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	江藤 望 () <平成30年4月> 修士(教育学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	大村 雅章 () <平成30年4月> 芸術学修士 文化資源学概論 ※
兼任	教授	山根 智 () <平成30年4月> 博士(工学) 分散並列リアルタイムシステム構成論
兼任	教授	佐藤 賢二 () <平成30年4月> 博士(工学) 生命情報と先端バイオ
兼任	教授	三好 正人 () <平成30年4月> 博士(工学) アレイ信号処理特論
兼任	教授	笠原 禎也 () <平成30年4月> 博士(工学) 通信工学特論
兼任	教授	浅川 毅 () <平成30年4月> 理学博士 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	山岸 忠明 () <平成30年4月> 工学博士 エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	長谷川 浩 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	千木 昌人 () <平成30年4月> 工学博士 マテリアルプログラム序論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	中村 誠一 () <平成30年4月> 修士(文化科学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	粕谷 雄一 () <平成30年4月> 修士(文化科学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	江藤 望 () <平成30年4月> 修士(教育学) 文化資源学概論 ※
兼任	教授	大村 雅章 () <平成30年4月> 芸術学修士 文化資源学概論 ※
兼任	教授	山根 智 () <平成30年4月> 博士(工学) 分散並列リアルタイムシステム構成論
兼任	教授	佐藤 賢二 () <平成30年4月> 博士(工学) 生命情報と先端バイオ
兼任	教授	三好 正人 () <平成30年4月> 博士(工学) アレイ信号処理特論
兼任	教授	笠原 禎也 () <平成30年4月> 博士(工学) 通信工学特論
兼任	教授	浅川 毅 () <平成30年4月> 理学博士 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	山岸 忠明 () <平成30年4月> 工学博士 エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼任	教授	長谷川 浩 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	千木 昌人 () <平成30年4月> 工学博士 マテリアルプログラム序論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	鳥羽 陽 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	稲垣 冬彦 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	北村 正典 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	後藤 享子 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	吉村 智之 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	杉本 直俊 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	准教授	古寺 哲幸 () <平成30年4月> 博士(理学) 異分野「超」体験実践1a(金沢) 異分野「超」体験実践1b(金沢) 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学
兼任	准教授	栗原 貴之 () <平成30年4月> 博士(工学) 太陽電池工学特論 I エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	辛川 誠 () <平成30年4月> 博士(農学) 異分野「超」体験実践1a(金沢) 異分野「超」体験実践1b(金沢) 太陽電池工学特論 I
兼任	准教授	井改 知幸 () <平成30年4月> 博士(工学) マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼任	准教授	服部 剛志 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	准教授	奥田 洋明 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	准教授	徳田 規夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 表面・界面工学特論 I
兼任	准教授	矢口 直道 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	高田 良宏 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	南保 英孝 () <平成30年4月> 博士(工学) データマイニング論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	鳥羽 陽 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	北村 正典 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	後藤 享子 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	吉村 智之 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 ※
兼任	准教授	杉本 直俊 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	古寺 哲幸 () <平成30年4月> 博士(理学) 異分野「超」体験実践1a(金沢) 異分野「超」体験実践1b(金沢) 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学
兼任	准教授	辛川 誠 () <平成30年4月> 博士(農学) 異分野「超」体験実践1a(金沢) 異分野「超」体験実践1b(金沢) 太陽電池工学特論 I
兼任	准教授	井改 知幸 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼任	准教授	服部 剛志 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	准教授	奥田 洋明 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	准教授	徳田 規夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 表面・界面工学特論 I
兼任	准教授	矢口 直道 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	高田 良宏 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	南保 英孝 () <平成30年4月> 博士(工学) データマイニング論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	鳥羽 陽 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 I ※ 創薬分子プローブ概論 II ※
兼任	准教授	北村 正典 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 II ※
兼任	准教授	後藤 享子 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 II ※
兼任	准教授	吉村 智之 () <平成30年4月> 博士(薬学) 創薬分子プローブ概論 I ※ 創薬分子プローブ概論 II ※
兼任	准教授	杉本 直俊 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：機能 ※
兼任	教授	古寺 哲幸 () <平成30年4月> 博士(理学) 生体分子ダイナミクス ※
兼任	准教授	辛川 誠 () <平成30年4月> 博士(農学) 異分野「超」体験実践1a(金沢) 異分野「超」体験実践1b(金沢) 太陽電池工学特論 I
兼任	准教授	井改 知幸 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼任	准教授	服部 剛志 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	准教授	奥田 洋明 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※
兼任	教授	徳田 規夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 表面・界面工学特論 I
兼任	准教授	矢口 直道 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	高田 良宏 () <平成30年4月> 博士(工学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	南保 英孝 () <平成30年4月> 博士(工学) データマイニング論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	今村 幸祐 () <平成30年4月> 博士(工学) 映像情報処理学
兼任	准教授	後藤 由貴 () <平成30年4月> 博士(情報学) 衛星測位工学
兼任	准教授	太田 明雄 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	山口 孝浩 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	牧 輝弥 () <平成30年4月> 博士(農学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	浅川 雅 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	古山 濱行 () <平成30年4月> 博士(薬学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	本田 光典 () <平成30年4月> 博士(工学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	川江 健 () <平成30年4月> 博士(工学) デバイスプロセス工学
兼任	准教授	目片 強司 () <平成30年4月> 工学修士 起業家の中核技術と戦略
兼任	講師	仲田 浩規 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	今村 幸祐 () <平成30年4月> 博士(工学) 映像情報処理学
兼任	准教授	後藤 由貴 () <平成30年4月> 博士(情報学) 衛星測位工学
兼任	准教授	太田 明雄 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	山口 孝浩 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	牧 輝弥 () <平成30年4月> 博士(農学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	浅川 雅 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	古山 濱行 () <平成30年4月> 博士(薬学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	本田 光典 () <平成30年4月> 博士(工学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	川江 健 () <平成30年4月> 博士(工学) デバイスプロセス工学
兼任	准教授	目片 強司 () <平成30年4月> 工学修士 起業家の中核技術と戦略
兼任	准教授	藤竹 正晴 () <平成30年4月> 理学博士 生物・分子物理学
兼任	准教授	佐藤 保則 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	准教授	菅原 裕文 () <平成30年4月> 博士(文学) 文化資源学概論 ※
兼任	講師	仲田 浩規 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：構造 ※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	今村 幸祐 () <平成30年4月> 博士(工学) 映像情報処理学
兼任	准教授	後藤 由貴 () <平成30年4月> 博士(情報学) 衛星測位工学
兼任	准教授	太田 明雄 () <平成30年4月> 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	山口 孝浩 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	牧 輝弥 () <平成30年4月> 博士(農学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	浅川 雅 () <平成30年4月> 博士(工学) エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	古山 濱行 () <平成30年4月> 博士(薬学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	本田 光典 () <平成30年4月> 博士(工学) マテリアルプログラム序論
兼任	准教授	川江 健 () <平成30年4月> 博士(工学) デバイスプロセス工学
兼任	准教授	藤竹 正晴 () <平成30年4月> 理学博士 生物・分子物理学
兼任	准教授	佐藤 保則 () <平成30年4月> 博士(医学) ヒューマンポディー：疾患 ※
兼任	准教授	菅原 裕文 () <平成30年4月> 博士(文学) 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	平田 英周 () <平成31年4月> 博士(医学) がんの生命科学 I
兼任	准教授	丸山 眞男 () <平成31年4月> 博士(工学) 光波工学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	吉田 武稔 () <平成30年4月> Ph.D (米国) システム思考論
兼任	教授	神田 陽治 () <平成30年4月> 博士 (工学) 人間カインバージョン論 創出カインバージョン論
兼任	教授	数田 麻実 () <平成30年4月> 博士 (学術) 社会科学方法論
兼任	教授	内平 直志 () <平成30年4月> 博士 (知識科学)、博士 (工学) イノベーション・マネジメント論
兼任	教授	永井 由佳里 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy 博士 (学術) (オーストラリア) デザイン創造過程論 【隔年】
兼任	教授	宮田 一乗 () <平成30年4月> 博士 (工学) メディア創造論
兼任	教授	藤波 努 () <平成30年4月> Ph.D (英国) 認知科学
兼任	教授	赤木 正人 () <平成30年4月> 工学博士 データ分析のための情報統計学
兼任	教授	東条 (東條) 敏 () <平成30年4月> 博士 (工学) 形式言語とオートマトン
兼任	教授	石原 哉 () <平成30年4月> 理学博士 数理論理学 計算論
兼任	教授	金子 峰雄 () <平成30年4月> 工学博士 システム最適化 ※
兼任	教授	小川 瑞史 () <平成30年4月> 博士 (理学) 情報代数 形式言語とオートマトン
兼任	教授	篠田 陽一 () <平成30年4月> 工学博士 オペレーティングシステム特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	吉田 武稔 () <平成30年4月> Ph.D (米国) システム思考論
兼任	教授	神田 陽治 () <平成30年4月> 博士 (工学) 人間カインバージョン論 創出カインバージョン論
兼任	教授	数田 麻実 () <平成30年4月> 博士 (学術) 社会科学方法論 ※
兼任	教授	内平 直志 () <平成30年4月> 博士 (知識科学)、博士 (工学) イノベーション・マネジメント論
兼任	教授	永井 由佳里 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy 博士 (学術) (オーストラリア) デザイン創造過程論 【隔年】 ※
兼任	教授	宮田 一乗 () <平成30年4月> 博士 (工学) メディア創造論 ※
兼任	教授	藤波 努 () <平成30年4月> Ph.D (英国) 認知科学 ※
兼任	教授	赤木 正人 () <平成30年4月> 工学博士 データ分析のための情報統計学
兼任	教授	東条 (東條) 敏 () <平成30年4月> 博士 (工学) 形式言語とオートマトン
兼任	教授	石原 哉 () <平成30年4月> 理学博士 数理論理学 ※ 計算論
兼任	教授	金子 峰雄 () <平成30年4月> 工学博士 システム最適化 ※
兼任	教授	小川 瑞史 () <平成30年4月> 博士 (理学) 情報代数 形式言語とオートマトン
兼任	教授	篠田 陽一 () <平成30年4月> 工学博士 オペレーティングシステム特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専任	准教授	Ho Anh Van () <平成31年4月> 博士 (工学) メカトロニクス 異分野「超」体験セッション I (JAIST) 異分野「超」体験実証 I a (JAIST) 異分野「超」体験実証 I b (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習 I (JAIST) 融合科学研究論文 I (JAIST) 融合科学専攻研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
専任	准教授	西村 健 () <平成31年4月> 博士 (マテリアルサイエンス) 触媒化学特論 異分野「超」体験セッション I (JAIST) 異分野「超」体験実証 I a (JAIST) 異分野「超」体験実証 I b (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習 I (JAIST) 融合科学研究論文 I (JAIST) 融合科学専攻研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
兼任	教授	神田 陽治 () <平成30年4月> 博士 (工学) 人間カインバージョン論 創出カインバージョン論
兼任	教授	数田 麻実 () <平成30年4月> 博士 (学術) 社会科学方法論 ※
兼任	教授	内平 直志 () <平成30年4月> 博士 (知識科学)、博士 (工学) イノベーション・マネジメント論
兼任	准事	永井 由佳里 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy 博士 (学術) (オーストラリア) デザイン創造過程論 【隔年】 ※
兼任	教授	宮田 一乗 () <平成30年4月> 博士 (工学) メディア創造論 ※
兼任	教授	藤波 努 () <平成30年4月> Ph.D (英国) 認知科学 ※ 異分野「超」体験実証 I a (JAIST) 異分野「超」体験実証 I b (JAIST)
兼任	教授	赤木 正人 () <平成30年4月> 工学博士 データ分析のための情報統計学
兼任	教授	東条 (東條) 敏 () <平成30年4月> 博士 (工学) 形式言語とオートマトン
兼任	教授	石原 哉 () <平成30年4月> 理学博士 数理論理学 ※ 計算論
兼任	教授	金子 峰雄 () <平成30年4月> 工学博士 システム最適化 ※
兼任	教授	小川 瑞史 () <平成30年4月> 博士 (理学) 情報代数 形式言語とオートマトン
兼任	教授	篠田 陽一 () <平成30年4月> 工学博士 オペレーティングシステム特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平石 邦彦 () <平成30年4月> 工学博士
		システム最適化 ※
兼任	教授	飯田 弘之 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ゲーム情報学特論 ※
兼任	教授	上原 隆平 () <平成30年4月> 博士(理学)
		計算論
兼任	教授	丁 洛榮 () <平成30年4月> Ph. D. (韓国)
		離散信号処理特論
兼任	教授	井口 寧 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		計算機アーキテクチャ特論
兼任	教授	緒方 和博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ソフトウェア設計論
兼任	教授	橋本 祐史 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		統計的信号処理特論
兼任	教授	寺内 多智弘 () <平成30年4月> Doctor of Philosophy (Computer Science) (米國)
		プログラミング基礎
兼任	教授	岩崎 秀夫 () <平成30年4月> 理学博士
		量子力学特論
兼任	教授	富取 正彦 () <平成30年4月> 理学博士
		応用電磁気学特論
兼任	教授	徳光 永輔 () <平成30年4月> 工学博士
		デバイス物理特論
兼任	教授	高木 昌宏 () <平成30年4月> 工学博士
		生物機能概論 ※
兼任	教授	水田 博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		応用物性数学特論
兼任	教授	村田 英幸 () <平成30年4月> 博士(工学)
		量子力学特論
兼任	教授	海老谷 幸喜 () <平成30年4月> 博士(理学)
		触媒化学特論
兼任	教授	高村 謙 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料分析特論
兼任	教授	藤本 健造 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生物有機化学特論 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平石 邦彦 () <平成30年4月> 工学博士
		システム最適化 ※
兼任	教授	飯田 弘之 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ゲーム情報学特論 ※
兼任	教授	上原 隆平 () <平成30年4月> 博士(理学)
		計算論
兼任	教授	丁 洛榮 () <平成30年4月> Ph. D. (韓国)
		離散信号処理特論
兼任	教授	井口 寧 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		計算機アーキテクチャ特論
兼任	教授	緒方 和博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ソフトウェア設計論
兼任	教授	橋本 祐史 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		統計的信号処理特論
兼任	教授	
兼任	教授	岩崎 秀夫 () <平成30年4月> 理学博士
		量子力学特論
兼任	教授	富取 正彦 () <平成30年4月> 理学博士
		応用電磁気学特論
兼任	教授	徳光 永輔 () <平成30年4月> 工学博士
		デバイス物理特論
兼任	教授	高木 昌宏 () <平成30年4月> 工学博士
		生物機能概論 ※
兼任	教授	水田 博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		応用物性数学特論
兼任	教授	村田 英幸 () <平成30年4月> 博士(工学)
		量子力学特論
兼任	教授	海老谷 幸喜 () <平成30年4月> 博士(理学)
		触媒化学特論
兼任	教授	高村 謙 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料分析特論
兼任	教授	藤本 健造 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生物有機化学特論 ※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平石 邦彦 () <平成30年4月> 工学博士
		システム最適化 ※
兼任	教授	飯田 弘之 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ゲーム情報学特論 ※
兼任	教授	上原 隆平 () <平成30年4月> 博士(理学)
		アルゴリズムとデータ構造 ※ 計算論
兼任	教授	丁 洛榮 () <平成30年4月> Ph. D. (韓国)
		離散信号処理特論
兼任	教授	井口 寧 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		計算機アーキテクチャ特論
兼任	教授	緒方 和博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		ソフトウェア設計論 ※
兼任	教授	橋本 祐史 () <平成30年4月> 博士(情報科学)
		統計的信号処理特論
兼任	教授	
兼任	教授	岩崎 秀夫 () <平成30年4月> 理学博士
		量子力学特論
兼任	教授	富取 正彦 () <平成30年4月> 理学博士
		応用電磁気学特論
兼任	教授	徳光 永輔 () <平成30年4月> 工学博士
		デバイス物理特論
兼任	教授	高木 昌宏 () <平成30年4月> 工学博士
		生物機能概論 ※
兼任	教授	水田 博 () <平成30年4月> 博士(工学)
		応用物性数学特論
兼任	教授	村田 英幸 () <平成30年4月> 博士(工学)
		量子力学特論
兼任	教授	
兼任	教授	高村 謙 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料分析特論
兼任	教授	藤本 健造 () <平成30年4月> 博士(工学)
		生物有機化学特論 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	芳坂 貴弘 () <平成30年4月> 博士(工学) 生物有機化学特論 ※
兼任	教授	前之園 信也 () <平成30年4月> 博士(工学) 無機材料化学特論
兼任	教授	金子 達雄 () <平成30年4月> 博士(工学) 高分子化学特論 I
兼任	教授	松見 紀佳 () <平成30年4月> 博士(工学) 有機分子化学特論 有機材料物性特論 ※ 異分野「超」体験セッション I (JAIST) 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習 I (JAIST) 融合科学研究論文 I (JAIST) 融合科学課題研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
兼任	准教授	水本 正晴 () <平成30年4月> 博士(社会学) 実験哲学概論
兼任	准教授	金井 秀明 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論
兼任	准教授	由井 隆也 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論
兼任	准教授	DAM Hieu Chi () <平成30年4月> 博士(材料科学) データ分析学基礎 ※ データ分析学 ※ 物質計算科学特論 ※
兼任	准教授	白肌 邦生 () <平成30年4月> 博士(学術) サービス経営論
兼任	准教授	吉高 浮夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 画像情報処理特論 【隔年】
兼任	准教授	白井 清昭 () <平成30年4月> 博士(工学) 自然言語処理論 I

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	芳坂 貴弘 () <平成30年4月> 博士(工学) 生物有機化学特論 ※
兼任	教授	前之園 信也 () <平成30年4月> 博士(工学) 無機材料化学特論
兼任	教授	金子 達雄 () <平成30年4月> 博士(工学) 高分子化学特論 I
専任	教授	松見 紀佳 () <平成30年4月> 博士(工学) 有機分子化学特論 有機材料物性特論 ※ 異分野「超」体験セッション I (JAIST) 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習 I (JAIST) 融合科学研究論文 I (JAIST) 融合科学課題研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
兼任	教授	水谷 五郎 () <平成30年4月> 理学博士 材料物理概論 ※
兼任	教授	柴 建武 () <平成30年4月> 博士(工学) 情報解析学特論
兼任	准教授	水本 正晴 () <平成30年4月> 博士(社会学) 実験哲学概論
兼任	准教授	金井 秀明 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論
兼任	准教授	由井 隆也 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論
兼任	准教授	DAM Hieu Chi () <平成30年4月> 博士(材料科学) データ分析学基礎 ※ データ分析学 ※ 物質計算科学特論 ※
兼任	准教授	白肌 邦生 () <平成30年4月> 博士(学術) サービス経営論
兼任	准教授	吉高 浮夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 画像情報処理特論 【隔年】
兼任	准教授	白井 清昭 () <平成30年4月> 博士(工学) 自然言語処理論 I

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	芳坂 貴弘 () <平成30年4月> 博士(工学) 生物有機化学特論 ※ 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST)
兼任	教授	前之園 信也 () <平成30年4月> 博士(工学) 無機材料化学特論
兼任	教授	金子 達雄 () <平成30年4月> 博士(工学) 高分子化学特論 I
専任	教授	松見 紀佳 () <平成30年4月> 博士(工学) 有機分子化学特論 有機材料物性特論 ※ 異分野「超」体験セッション I (JAIST) 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習 I (JAIST) 融合科学研究論文 I (JAIST) 融合科学課題研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
兼任	教授	水谷 五郎 () <平成30年4月> 理学博士 材料物理概論
兼任	教授	大平 圭介 () <平成31年4月> 博士(工学) 応用物性数学特論
兼任	教授	大島 義文 () <平成31年4月> 博士(理学) 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST)
兼任	教授	柴 建武 () <平成30年4月> 博士(工学) 情報解析学特論
兼任	准教授	水本 正晴 () <平成30年4月> 博士(社会学) 実験哲学概論
兼任	准教授	金井 秀明 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論
兼任	准教授	由井 隆也 () <平成30年4月> 博士(工学) 知識メディア方法論 異分野「超」体験実践 I a (JAIST) 異分野「超」体験実践 I b (JAIST)
兼任	准教授	DAM Hieu Chi () <平成30年4月> 博士(材料科学) データ分析学基礎 ※ データ分析学 ※ 物質計算科学特論 ※
兼任	准教授	白肌 邦生 () <平成30年4月> 博士(学術) サービス経営論
兼任	准教授	吉高 浮夫 () <平成30年4月> 博士(工学) 画像情報処理特論 【隔年】
兼任	准教授	白井 清昭 () <平成30年4月> 博士(工学) 自然言語処理論 I

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	田中 清史 () <平成30年4月> 博士(理学) 計算機アーキテクチャ特論
兼任	准教授	田中(件測) 宏和 () <平成30年4月> 博士(理学) 統計的信号処理特論
兼任	准教授	前園 涼 () <平成30年4月> 博士(工学) ダイナミクスのモデリング 【隔年】
兼任	准教授	浅野 文彦 () <平成30年4月> 博士(工学) 離散信号処理特論
兼任	准教授	池田 心 () <平成30年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造 ゲーム情報学特論 ※
兼任	准教授	NGUYEN Le Minh () <平成30年4月> 博士(情報科学) 自然言語処理論 I
兼任	准教授	篠原 健一 () <平成30年4月> 博士(工学) 機器分析化学特論
兼任	准教授	高村 由起子 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 I
兼任	准教授	赤堀 誠志 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 II
兼任	准教授	筒井 秀和 () <平成30年4月> 博士(生物科学) 生体分子機能特論
兼任	准教授	松村 和明 () <平成30年4月> 博士(工学) 材料化学概論 ※
兼任	准教授	長尾 祐樹 () <平成30年4月> 博士(理学) 有機材料物性特論 ※
兼任	准教授	濱田 勉 () <平成30年4月> 博士(理学) 生物物理化学特論
兼任	准教授	谷池 俊明 () <平成30年4月> 博士(理学) 材料化学概論 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	田中 清史 () <平成30年4月> 博士(理学) 計算機アーキテクチャ特論
兼任	准教授	田中(件測) 宏和 () <平成30年4月> 博士(理学) 統計的信号処理特論
兼任	教授	前園 涼 () <平成30年4月> 博士(工学) ダイナミクスのモデリング 【隔年】 ※
兼任	准教授	浅野 文彦 () <平成30年4月> 博士(工学) 離散信号処理特論
兼任	准教授	池田 心 () <平成30年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造 ゲーム情報学特論 ※
兼任	准教授	NGUYEN Le Minh () <平成30年4月> 博士(情報科学) 自然言語処理論 I
兼任	准教授	篠原 健一 () <平成30年4月> 博士(工学) 機器分析化学特論
兼任	准教授	高村 由起子 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 I
兼任	准教授	赤堀 誠志 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 II
兼任	准教授	筒井 秀和 () <平成30年4月> 博士(生物科学) 生体分子機能特論
兼任	准教授	松村 和明 () <平成30年4月> 博士(工学) 材料化学概論 ※
兼任	准教授	長尾 祐樹 () <平成30年4月> 博士(理学) 有機材料物性特論 ※
兼任	准教授	濱田 勉 () <平成30年4月> 博士(理学) 生物物理化学特論
兼任	准教授	谷池 俊明 () <平成30年4月> 博士(理学) 材料化学概論 ※ 物質計算科学特論 ※
兼任	准教授	栗川 直 () <平成30年4月> Ph.D. (オーストリア) プログラミング基礎
兼任	准教授	KIM Eunyoung () <平成30年4月> 博士(工学) 社会科学方法論 ※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	田中 清史 () <平成30年4月> 博士(理学) 計算機アーキテクチャ特論
兼任	准教授	田中(件測) 宏和 () <平成30年4月> 博士(理学) 統計的信号処理特論 真分野「題」体験実習 I a (JAIST) 真分野「題」体験実習 I b (JAIST)
兼任	教授	前園 涼 () <平成30年4月> 博士(工学) ダイナミクスのモデリング 【隔年】 ※
兼任	准教授	浅野 文彦 () <平成30年4月> 博士(工学) 離散信号処理特論
兼任	准教授	池田 心 () <平成30年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造 ※ ゲーム情報学特論 ※ 真分野「題」体験実習 I a (JAIST) 真分野「題」体験実習 I b (JAIST)
兼任	准教授	NGUYEN Le Minh () <平成30年4月> 博士(情報科学) 自然言語処理論 I
兼任	准教授	篠原 健一 () <平成30年4月> 博士(工学) 機器分析化学特論
兼任	准教授	高村 由起子 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 I
兼任	准教授	赤堀 誠志 () <平成30年4月> 博士(工学) 固体物理学特論 II
兼任	准教授	筒井 秀和 () <平成30年4月> 博士(生物科学) 生体分子機能特論
兼任	准教授	松村 和明 () <平成30年4月> 博士(工学) 材料化学概論 ※ 真分野「題」体験実習 I a (JAIST) 真分野「題」体験実習 I b (JAIST)
兼任	准教授	長尾 祐樹 () <平成30年4月> 博士(理学) 有機材料物性特論 ※
兼任	准教授	濱田 勉 () <平成30年4月> 博士(理学) 生物物理化学特論
兼任	准教授	谷池 俊明 () <平成30年4月> 博士(理学) 材料化学概論 ※ 物質計算科学特論 ※
兼任	准教授	栗川 直 () <平成30年4月> Ph.D. (オーストリア) プログラミング基礎
兼任	准教授	KIM Eunyoung () <平成30年4月> 博士(工学) 社会科学方法論 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	非常勤講師	HD Bao Tu () <平成30年4月> Ph.D. (フランス)
		データ分析学基礎 ※ データ分析学 ※
兼任	非常勤講師	前川 正実 () <平成30年4月> 博士(工学)
		デザイン創造過程論 【隔年】※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	非常勤講師	HD Bao Tu () <平成30年4月> Ph.D. (フランス)
		データ分析学 ※
兼任	非常勤講師	前川 正実 () <平成30年4月> 博士(工学)
		デザイン創造過程論 【隔年】※

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**届出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<金沢大学>

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、専任教員の松本邦夫、飯山宏一、河合望の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の中村慎一、井改知幸、谷池俊明の担当授業科目を追加。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の新村哲夫、高山知明、上田望、西村聡、稲垣冬彦が辞任し、大宮寛久、西本陽一、菅原裕文、神谷嘉美が就任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に、西山正章、角野歩が就任。
- ・兼任教員の加納重義が辞任。
- ・兼任教員の森原貴之が退職。
- ・昇任のため、兼任教員の古寺哲幸の職名を教授に変更。
- ・昇任のため、兼任教員の前島隆司の職名を准教授に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、専任教員の小川教馬の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の鳥羽陽、吉村智之の担当授業科目を変更及び追加。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の國嶋崇隆、松尾淳一、大宮寛久、北村正典、後藤享子、古寺哲幸の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に谷内通、増田和実、木綿隆弘、平田英周、丸山武男、石川達也、津野祐輔、渡邊信嗣、角田貴洋が就任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の梶張隆史の担当授業科目を追加。
- ・兼任教員の北山哲士、高橋憲司、日片強司、仲田浩規が辞任。
- ・兼任教員の小谷明、藤井純夫、生越友樹、井改知幸が退職。
- ・昇任のため、専任教員の菅沼直樹を教授に変更。
- ・昇任及び担当教員の見直しにより、専任教員の河合望の職名を教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・昇任のため、兼任教員の徳田規夫の職名を教授に変更。

<北陸先端科学技術大学院大学>

【平成30年度】

- ・専任教員の江東林辞任により、兼任教員であった松見紀佳が専任教員に就任し、担当授業科目を追加した。平成30年1月教員審査済み。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の谷池俊明の担当授業科目を追加。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の寺内多智弘が辞任し、廣川直が就任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に、水谷五郎、党建武、KIM Eunyoung、本郷研太、BEURAN Razvan Florin、KHUAT Thi Thu Hien、井手勇介、坂村圭、謝浩然、鳥居拓馬、宮田全展、根元多佳子が就任。
- ・海老谷幸喜の退職のため、兼任教員から兼任教員（非常勤講師）に変更。
- ・昇任のため、兼任教員の前園涼の職名を教授に変更。
- ・昇任のため、兼任教員の日高昇平の職名を准教授に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の退職により、専任教員の林幸雄の担当授業科目を追加。令和元年7月教員審査予定。
- ・担当教員の見直しにより、専任教員の小矢野幹夫の担当授業科目を変更。
- ・平成31年4月Ho Anh Van及び西村俊が専任教員に就任し、担当授業科目を追加。平成30年11月教員審査済み。
- ・兼任教員の吉田武稔、田中孝治、KHUAT Thi Thu Hien、井手勇介が退職。
- ・役員就任のため、兼任教員の永井由佳里の職名を理事に変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の藤波努、上原隆平、芳坂貴弘、由井園隆也、田中(杵淵)宏和、池田心、松村和明、日高昇平、鳥居拓馬の担当授業科目を追加。
- ・兼任教員の海老谷幸喜が辞任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に、大平圭介、大島義文、伊藤泰信、VIGLIETTA Giovanni、河井達治、MOHD Nor Akmal Khalid が就任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員のHO Bao Tuの担当授業科目を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数		完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数		
金沢大学	3 名	2 名	2 名
北陸先端科学技術大学院大学	1 名	1 名	1 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

大学名	設置時の計画					現在（報告時）の状況				
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
金沢大学	14	5	0	0	19	14	5	0	0	19
	(14)	(5)	(0)	(0)	(19)					
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	19	0	0			19	0	0		
	(19)	(0)	(0)			(19)	(0)	(0)		
北陸先端科学技術大学院大学	7	0	0	0	7	7	2	0	0	9
	(7)	(0)	(0)	(0)	(7)					
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	7	0	0			9	0	0		
	(7)	(0)	(0)			(7)	(0)	(0)		
大学名	現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
金沢大学	14	5	0	0	19	14	5	0	0	19
	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	19	0	0			19	0	0		
	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		
北陸先端科学技術大学院大学	7	2	0	0	9	7	3	0	0	10
	[0]	[2]	[0]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]	[0]	[3]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	9	0	0			10	0	0		
	[2]	[0]	[0]			[3]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
金沢大学	65 歳	0 名	0 名
北陸先端科学 技術大学院大 学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{28}{26} = \boxed{107.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
金沢大学				該当なし						
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1	教授	江 東 林	H30.3	選択	有機材料物性特論	①	H30.3退職のため就任辞退（30）		
					必修	異分野「超」体験セッションI	①			
					選択	異分野「超」体験実証Ia（JAIST）	①			
					選択	異分野「超」体験実証Ib（JAIST）	①			
					選択	インターンシップ（JAIST）	①			
					選択	ゼミナール・演習I（JAIST）	①			
					選択	融合科学研究論文I（JAIST）	①			
					選択	融合科学課題研究（JAIST）	①			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
金沢大学				該当なし						
北陸先端 科学技術 大学院大 学				該当なし						
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{26} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
金沢大学						該当なし			
北陸先端科学技術大学院大学						該当なし			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>金沢大学：該当なし</p> <p>北陸先端科学技術大学院大学：就任を辞退した専任教員の授業科目を担当する教員は、当該授業科目を担当するに当たり十分な業績を保持しており、授業科目の実施に支障はない。学生には、履修案内(冊子及びWeb)、時間割(Web)等により周知している。</p>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (29)	・ 目的とする「融合科学」の教育、研究指導及び評価が実施できるよう、両大学が十分な協力・連携体制を構築することが望ましい。	留意事項 ・ 平成29年3月29日付で、両大学の学長名で「金沢大学及び北陸先端科学技術大学院大学による『融合科学共同専攻』に関する連携協定書」を締結した。 その下で、大学院設置基準第31条第2項に定める「構成大学間の協議の場」として「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻連絡協議会」を設置し、目的とする「融合科学」の教育、研究指導及び評価を実施するための十分な協力・連携体制を構築した。特に、学生の授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導を行うため、学生1人につき両大学から1名ずつの指導教員（主任・副主任）を融合科学の観点を加味して配置することし、その配置については両大学の連絡協議会において審議・承認する体制をとっている。 加えて、融合科学共同専攻の教育に資する分野融合型研究を推進するため「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合研究推進会議」を置き、研究交流会、ワークショップ、シンポジウム等の企画に関する事項、分野融合型研究の実施に係る経費等の支援等に係る構成大学間の連絡調整を行うこととした。 また、特に構成大学間の調整を必要とする事務の実施組織として「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻コーディネートセンター」を置き、共同開講科目の実施及び研究指導体制の構築にかかる調整事務、学生の授業科目（インターンシップ及び研究留学を含む。）に関する事務的な指導及び相談対応の業務を行っている。 (30)	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<金沢大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
講義室 インキュベーション施設3室 自習室 各研究指導教員の研究室の傍には、学生が自習できる自習室を備えている。	講義を円滑に行うようにするため、講義室を専用3室ではなく、自然科学本館において共用36室を使用することとした。各研究指導教員には、自然科学1号館、2号館、3号館等に教員室を設けるとともに、その傍らに共用で研究室及び学生が自習等を行えるスペースを備えている。併せて、自然科学2号館に融合科学共同専攻の学生専用の自習スペース1室(32㎡)を新たに設置した。

<北陸先端科学技術大学院大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学>

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻連絡協議会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 議題により適宜開催。平成30年度は書面附議も含め、9回開催した。毎回全委員が出席した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 学生の身分及び学生支援方針に関する事項 (2) 授業科目の編成、実施(教育手法を含む。)及び担当教員の配置に関する事項 (3) 専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の配置に関する事項 (4) 入学者選抜の方針に関する事項 (5) 成績評価の方針に関する事項 (6) 学位審査、学位の授与及び課程修了の認定に関する事項 (7) 戦略的な学生募集活動、広報及び情報発信に関する事項 (8) 共同教育課程に係る教育研究活動等の状況及び自己点検・評価に関する事項 (9) 共同教育課程に係るファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項 (10) その他連絡協議会が必要と認めた事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・両大学共同で融合科学共同専攻を運営するために必要となる運用面の改善に向けた意見交換を行う。 平成30年度は、カリキュラムの再確認、共同開講科目及びラボローテーションの運用改善について議論した。</p> <p>b 実施方法 ・テレビ会議システムを利用した研修会</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) ・2018年度融合科学共同専攻FD研修会(平成31年2月22日開催、20名参加)</p>
--

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・意見交換の結果を令和元年度の共同開講科目及びラボローテーションの運用に反映させることとした。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・両大学それぞれで実施
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・両大学それぞれで実施

<金沢大学>

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
 - 新学術創成研究科会議
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 原則毎月1回（8月を除く）開催（書面附議を入れ平成30年度は11回開催。出席率平均75.6%）
 - c 委員会の審議事項等
 - (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
 - (2) 規程その他の教育に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項
 - (3) 教育に係る予算の執行に関する事項
 - (4) 教育課程の編成に関する事項
 - (5) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言，指導その他の援助に関する事項
 - (6) 学生の入学又は課程の修了その他学生の在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項
 - (7) 教育の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
 - (8) 授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究の実施に関する事項
 - (9) 研究科長の候補者の選考に関する事項
 - (10) その他当該研究科に関する重要事項
- ② 実施状況
- a 実施内容
 - ・北陸先端科学技術大学院大学と合同で行うFD研修会を本研究科独自のFD研修会とする。
 - ・全学又は所属部局等において，FD研修会や各種FD活動を行う。
 - b 実施方法
 - ・テレビ会議システムを利用した研修会
 - ・全学のFD講演会と授業実践報告会については，講演会形式
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・2018年度融合科学共同専攻FD研修会（平成31年2月22日開催，金沢大学から12名参加）
 - ・全学FD活動については，次のようなものがある。
 - FDワークショップ（平成30年11月29日開催 6名参加）
 - 教育実践報告会（平成31年3月27日開催 24名参加）
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・各種FD研修会において学んだ内容を各教員が担当する講義において取り入れる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・講義終了時に授業評価アンケートを行う。
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・担当の教員に公開する

<北陸先端科学技術大学院大学>

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
 - 教育研究専門委員会（規則は別紙のとおり）

- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 毎月1回（8月を除く）開催（委員のほとんどが毎回参加）
- c 委員会の審議事項等
 - 別紙規則のとおり
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・「博士後期課程学生を標準修業年限内に修了させるための効果的な方策について」をテーマとしたグループワーク
 - ・「大学院生の活動性を高める指導のあり方」をテーマとしたペアワーク
 - ・「講義の進め方及び成績評価の客観性・妥当性について」をテーマとしたグループワーク
 - b 実施方法
 - ・グループワーク，ペアワーク
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - 全学FD
 - ・博士後期課程学生を標準修業年限内に修了させるための効果的な方策について（平成30年7月20日，参加教員53名）
 - ・大学院生の活動性を高める指導のあり方（平成30年9月10日，参加教員66名）
 - ・講義の進め方及び成績評価の客観性・妥当性について（平成30年12月14日，参加教員52名）
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - 全学の課題等について議論し，教員間で情報共有することによって，授業改善につなげている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 有（授業ごとに、各期の最終講義時に実施）
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - アンケート結果は教員にフィードバックする。
 - また，各期ごとに全体の集計結果をホームページで公開している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

<金沢大学>

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - 設置計画どおりに達成している。FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・未定（検討中）
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和3年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

<北陸先端科学技術大学院大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、平成30年4月の開設及びそれ以降の活動が順調に行われている。全学FDや授業評価アンケート等をもとに、授業改善に取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・未定

③ 認証評価を受ける計画

・令和元年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

<金沢大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月（予定） ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

<北陸先端科学技術大学院大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月末日（予定） ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

○国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学教育研究専門委員会規則

(平成16年4月1日北院大規則第82号)

改正 平成17年4月1日施行 平成17年7月19日施行
 平成18年4月1日施行 平成18年7月20日施行
 平成20年4月2日施行 平成20年4月15日施行
 平成22年4月1日施行 平成23年4月19日施行
 平成24年1月18日施行 平成24年4月1日施行
 平成27年7月1日施行 平成28年4月1日施行

(設置)

第1条 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学の教育研究評議会に、教育研究専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 専門委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する理事
- (2) 副学長
- (3) 特別学長補佐
- (4) 学系長
- (5) 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学教育研究評議会規則第2条第1項第6号及び第7号の評議員
- (6) 委員長が指名する副理事

(審議事項)

第3条 専門委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 学位論文の審査手続に関する事。
- (2) 入学料、授業料及び寄宿料の免除並びに奨学金に関する事。
- (3) 学生募集に関する事。
- (4) 教育の連携及び社会貢献に関する事。
- (5) 学生生活の支援及び指導に関する事。
- (6) 学生の進路、就職及びキャリア形成の支援に関する事。
- (7) 国費外国人留学生の推薦及び受入れに関する事。
- (8) その他教育研究に関する事。

(検討事項)

第4条 専門委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 寄附講座の設置に関する事。
- (2) 国際シンポジウムの開催計画に関する事。
- (3) 大学セミナーその他研究発表の実施に関する事。
- (4) 公開講座に関する事。
- (5) 競争的研究資金の獲得への対策に関する事。
- (6) 地域貢献事業に関する事。

- (7) 前各号に掲げるもののほか教員等の研究に関する事。
- (8) 教育課程の編成の方針に関する事。
- (9) 教育内容及び教育方法の改善に関する事。
- (10) 学生の表彰に関する事。
- (11) 非常勤講師に関する事。

(運営)

第5条 専門委員会に委員長を置き、第2条第1号の委員のうちから学長が指名する者をもって充てる。

2 委員長は、専門委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席)

第6条 専門委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 専門委員会の事務は、教育支援課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、専門委員会の運営に関し必要な事項は、教育研究評議会の議を経て学長が定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年4月1日施行)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年7月19日施行)

この規則は、平成17年7月19日から施行する。

附 則 (平成18年4月1日施行)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年7月20日施行)

この規則は、平成18年7月20日から施行する。

附 則 (平成20年4月2日施行)

この規則は、平成20年4月2日から施行する。

附 則 (平成20年4月15日施行)

この規則は、平成20年4月15日から施行する。

附 則 (平成22年4月1日施行)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月19日施行）

この規則は、平成23年4月19日から施行する。

附 則（平成24年1月18日施行）

この規則は、平成24年1月18日から施行する。

附 則（平成24年4月1日施行）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成27年7月1日施行）

この規則は、平成27年7月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日施行）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。